

令和 2 年

第 11 回 10 月定例教育委員会議事録

令和 2 年 10 月 27 日

大野城市教育委員会

次 第

- 1 招集日時
○招集日 令和2年10月27日
○開会時間 午前10時00分
○閉会時間 午前10時40分
- 2 招集の場所 大野城市役所 本館3階 311・312会議室
- 3 会議次第
 - (1) 議事録署名委員
令和2年第10回議事録の署名委員 高木 和敏 委員
今回議事録の署名委員 高野 英機 委員
 - (2) 議事
第35号教育長の職務を代理する者の指名について
 - (3) 教育長報告 なし
 - (4) 報告
 - ①大野城市奨学資金奨学生の選考結果について (教育政策課)
 - ②大野城市教育委員会と福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部との包括連携協定締結について (教育指導室)
 - (5) その他
 - ①教育長の業務報告(9月～10月分)
 - ②教育委員会の主な行事・業務の予定(11月分)
- 4 出席した委員等 吉富 修(教育長) 高木 和敏 梶原 千春 松本 民仁
高野 英機 山口 典子
- 5 欠席した委員 なし
- 6 出席した職員 教 育 部 長 日野 和弘
教 育 政 策 課 長 橋元 啓樹
教 育 振 興 課 長 千葉 太
教 育 指 導 室 長 梶 幸男
ス ポ ー ツ 課 長 神崎 康則
ふるさと文化財課長 石木 秀啓
教育政策課係長 葉山 賀瑞江
教育政策課担当 大楠 和美
- 7 会議の書記 教育政策課担当 大楠 和美

午前10時00分 開会

○吉富教育長

それでは、ただいまより、令和2年10月定例教育委員会を開会いたします。

まず、冒頭で、新たに教育委員に就任されました山口典子委員、それから再任を引き受けていただきました松本民仁委員より、それぞれ御挨拶を頂戴してから始めたいと思います。よろしゅうございますか。どうぞお願いいたします。

○山口委員

本年度から教育委員として活動させていただきます山口と申します。よろしく願いします。

現在は大野小学校のランドセルクラブのコーディネーターとして子どもたちと関わる仕事をさせていただいております。まだ大野城市に住んで20年に満たないんですけども、大野城市が大好きです。子どもたちも大野城市が大好きな大人に育つように頑張っていきたいと思います。分からないことがたくさんありますので、これからよろしく願いします。

(拍手)

○吉富教育長

どうぞよろしくお願いいたします。

では、松本委員、お願いいたします。

○松本委員

4年間委員を務めて、あまり役にも立ちませんでしたけれども、この4年間の経験を糧として今後またしっかり頑張りたいと思いますので、よろしく願いします。

(拍手)

○吉富教育長

よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。大変心強いばかりでございます。

山口委員は教育振興課にもよくいらっしやっておりますので、今後もよろしくお願いいたします。

〔会議録承認〕

○吉富教育長

それでは、進めさせていただきます。議事録の承認に入らせていただきます。

前回の9月定例会にて高木委員さんをお願いしておりましたので、署名をお願いいたします。

今回の議事録の署名については、次回の委員会において高野委員さんをお願いします。どうぞよろしくお願いいたします。

○高野委員

了解しました。

〔議 事〕

○吉富教育長

早速、議事に入らせていただきます。

その前に、先日の市立中学校の新型コロナウイルス感染症の件については、大変御心配をおかけしました。いろいろおもんばかっていただいたと思います。

この件については、筑紫保健所の指導に従って対応いたしております。

学校に対して、慎重にならざるを得ないようなお問い合わせ等も何もなく、非常に平穏で静謐な教育環境を取り戻していると校長からの報告が入りましたので、よかったですと思います。何事もなく明るく過ごしているということです。

該当の生徒に対しても、養護教諭がずっと電話を入れて、いろいろな話題を提供しながら明るく接していたということで、事態がはっきりしてからは、それほど気に病んでいることもなかった様子も伺っております。

一番大切な子どもたちの気持ちが今は落ち着いておりますので、御安心いただければと思います。御報告させていただきます。

〔第35号議案 教育長の職務を代理する者の指名について〕

○吉富教育長

それでは、第35号議案、教育長の職務を代理する者の指名について、橋元教育政策課長、お願いいたします。

○橋元教育政策課長

それでは、第35号議案、教育長の職務を代理する者の指名について御説明させていただきます。

資料1 ページをよろしくお願いいたします。

この教育長の職務を代理する者につきましては、前任でありました安部一枝委員が退任されたことに伴い、後任の方を任命をさせていただくものです。

理由といたしまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により教育長の職務を代理する者を指名するとなっております。

資料2 ページをお願いします。ここに記載していますように、教育長の職務を代理する者として、高木和敏教育委員を指名させていただきたく議案を上程致しております。どうぞよろしくお願いいたします。

説明は以上です。

○吉富教育長

ありがとうございました。ただいま説明が終わりましたが、何か御確認等があればどうぞ。よろしいでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

○吉富教育長

これより採決に入ります。

第35号議案について、承認することに異議はございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○吉富教育長

異議なしですので、第35号議案は承認すべきものと決めます。

〔教育長報告〕

○吉富教育長

4番、教育長報告。今月は報告すべき事項はございません。

現在、管内教育長会がリモート会議で行われています。本来は福岡教育事務所に直接赴いて16市町の教育長が一堂に会して行う会議なのですが、集合型の研修に相当するため、感染リスクの低減という観点からリモート会議になっています。リモート会議では、報告すべき事案がなかなか挙がらない状況です。恐らく今年度いっぱいリモート会議になるのではなかろうかと思っています。

〔報 告〕

○吉富教育長

5番、報告になります。

令和3年度大野城市奨学資金奨学生の選考結果について、橋元教育政策課長、説明をお願いいたします。

○橋元教育政策課長

それでは、令和3年度大野城市奨学資金奨学生の選考結果について説明させていただきます。

資料の3ページをお願いいたします。

1番にありますとおり、令和2年9月9日に選考委員会を実施させていただきました。選考委員会には、教育委員として2名、安部委員さんと梶原委員さんに出席をお願いしたところでございます。そのほかの委員には、中学校代表の方が2名、高等学校の代表の方が2名、教育委員会の職員、市長部局の職員の計10名で会議を行っております。

選考基準は、2番のとおり、学業成績、収入基準、作文の3項目で審査を行っております。

選考結果については、高等学校・高等専門学校奨学生に9名の申込みがあり、その内6名を内定者といたしております。また、ここ近年、内定者から数名の辞退が出て

いることを鑑みまして、今年度は補欠を3名選出することといたしております。

続きまして、大学奨学生ですが、こちらにつきましては2名の申込みがあり、内容を審査した結果、2名とも内定者として選考させていただいております。資料(2)内定者等に、今申し上げた内容を詳しく書いてございます。

説明は以上です。

○吉富教育長

説明が終わりました。何かお尋ねがあれば、どうぞお願いいたします。

出席は安部委員と梶原委員でした。ありがとうございました。また、生徒たちそれぞれに頑張ってくれることを期待するばかりでございます。

それでは、質問はないものとして次に進みます。

次は、大野城市教育委員会と福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部との包括連携協定締結について、梶教育指導室長、説明をお願いいたします。

○梶教育指導室長

それでは、大野城市教育委員会と福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部との包括連携協定締結についてです。昨日調印式を行いました。この件について、一切を取り仕切っておりました西岡係長より、別でお配りしている資料に基づいて御説明させていただきます。

○西岡教育指導室係長

失礼いたします。教育指導室教育指導担当係長の西岡と申します。私から説明させていただきます。

先ほど梶室長が申しましたとおり、昨日、大野城市教育委員会と福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部との包括連携協定の調印式を行いました。資料を2枚準備しており、1枚目は協定内容、2枚目が、昨日協定を行った協定書の写しとなっております。

今回の協定につきましては、福岡女学院大学から大野城市教育委員会との包括連携協定のお話をいただきまして、昨日、協定書調印の運びとなりました。2枚目の協定書にも記載されておりますとおり、本協定は、学校教育、生涯学習、スポーツ、歴史・文化財等の分野で相互に協力し、学校及び地域における教育の充実・発展に寄与

することを目的としております。

福岡女学院大学とは、これまでも保育園、幼稚園と小学校との連携事業や、小中学校に学生を派遣するヤングアドバイザーなどで連携を行ってございましたけれども、この協定を機に組織同士のつながりを強化した上で相互の人材交流を深め、教育課題等に対応していきたいと考えております。まずは、本市の喫緊の教育課題であります不登校児童・生徒の増加への対応と支援を中心に連携を深めてまいりたいと思っております。

福岡女学院大学は、心理学科や子ども発達学科、大学院にも臨床心理学や発達教育学といった子どもの心理にかかわる教育や人材育成を行っておりますので、そういった専門知識を学んでいる学生に、小中学校や適応指導教室、または、現在、市がNPO法人と共同で実施しております訪問型支援事業などに参加してもらい、子どもの心身の成長やケアの一助となってもらえるよう、調整してまいりたいと思っております。

その他の連携の事業につきましては、今後、定期的に連携協議会を開催いたしまして取り組んでいく事業等について協議を行い、事業を進めてまいりたいと考えております。

ちなみに、昨日の調印式の様子につきましては、本日7時からケーブルステーション福岡の地域情報番組2755（つなGO!!GO!!!）で放映される予定になっておりますので、併せてお知らせさせていただきます。もしよろしければ、御覧いただければと思います。

説明は以上です。

○吉富教育長

ありがとうございました。何かお尋ねがありましたら、よろしく願いいたします。
高木委員、お願いいたします。

○高木委員

この連携は福岡女学院と福岡女学院短期大学ということですが、ほかの大学との連携協定もあるのでしょうか。

○梶教育指導室長

今現在、ほかの大学と教育委員会との協定は行っておりません。大野城市として、九州大学と連携協定を結んでいます。

○高木委員

私が不登校対策で北コミなどに行っているときに、筑紫女学園か福岡女子短期大学からヤングアドバイザーとして見えていたような気がするのですが。確かな記憶ではないんですけども。

○西岡教育指導室係長

ヤングアドバイザーにつきましては、福岡教育大学、筑紫女学園大学など、個別の協定を行っているところでございます。

○高木委員

継続しているんですね。

○梶教育指導室長

はい、来ていただいております。

○高木委員

分かりました。

○吉富教育長

お尋ねありがとうございます。各大学は大学事業の活性化のためにも、地域自治体と結びついてこのような教育活動を行うことが大切な行事になってきております。多くの先生たちの母校である福岡教育大学につきましても、そのような方向に力を入れているところでございます。

宗像市は福岡教育大学の地元でございますので、域下の中学校、小学校に学生がたくさん出向いておりますが、そういった状態までいけばいいなと思っております。

ほかになにかご質問はありますでしょうか。

[「なし」の声あり]

○吉富教育長

それでは、続けます。

[その他]

○吉富教育長

(1) 教育長の業務報告(9月～10月分)

(2) 教育委員会の主な行事・業務の予定(11月分)

○吉富教育長

以上の説明をもちまして、用意しておりました10月度の案件については終わらせていただきます。

これで10月定例教育委員会を閉会いたします。

午前10時40分閉会